

□■養成所ニュースプラス第8号 2023□■

明日から仙台会場でのスクーリングです。仙台といえば、伊達政宗であり、サンドイッチマンであります。皆さんは、「仙台四郎」をご存じでしょうか。知的障害がありほとんど話せませんでした。ふらりと立ち寄る店は必ず繁盛し、彼が抱く子どもは丈夫に育つと言われ、当時の新聞にも掲載される街の有名人だったそうです。このような話から、没後、特に不況時には福の神として四郎のブームが起こり、今でもその像や写真を飾る商店もあるそうです。共通科目8「障害者福祉」第2章第1節「障害観の変遷」には「仙台四郎」が福をもたらす障害者（福子）の一例として紹介されています。

今回は「社会理論と社会システム」（現、「社会学と社会システム」）からゴッフマン（Goffman.E.）の概念についての問題です。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかあわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz

【第34回問題21】他者や社会集団によって個人に押し付けられた「好ましくない違いを表す印」に基づいて、それを負う人々に対して様々な差別が行われることをゴッフマン（Goffman.E.）は指摘した。次のうち、この「好ましくない違いを表す印」を示す概念として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 自己成就的予言
2. マイノリティ
3. スティグマ
4. クレーム申立て
5. カリスマ

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

- ・(34期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・(35期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。
- ・(35期生)見込書類(実務経験証明書)のさしかえについて
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。
- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。
- ・スクーリングの詳細(実施要綱等)については、全受講生に向けて発送しています。届いていない場合やご不明な点がある際は、本養成所にお早めにお問い合わせください。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第36回国家試験は、令和6年2月4日(日)です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1093427&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1093428&c=3246&d=99c7>

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1093429&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1093430&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【レポート作成講座第 8 号から受験対策講座第 1 号へ】

第 35 期生の皆さんにむけたレポート作成講座も今回が最終回になります。今までの 7 回を振り返ります。

第 1 号では、国家資格取得までのスケジュール管理について伝えました。第 2 号では、レポート課題と対話することを 1 学期 6 科目の課題を具体的に挙げながら確認していきました。

第 3 号では、例年 1 学期に多い文章作法のルール違反を示し、第 4 号では、引用・参考文献を記すことの意味とインターネットで検索した資料の使い方を確認しました。第 5 号では、事例や体験の取り上げ方と、レポート作成を機会に皆さんの実践や体験を振り返り言葉にする大切さを伝えました。

第 6 号では、事務局の判断で再提出になる場合を示し、送付時の具体的な留意点を確認しました。第 7 号では、大阪スクーリングで再確認したポイント（レポート課題への対応とスケジュール管理）を大阪会場以外の皆さんとも共有しました。

明日から 1 学期のレポート提出期間となります。送付の前に、今まで確認したことを意識して必ず 3 回読み返してください。その時間が皆さんのレポートを更にブラッシュアップします。

次回からは、34 期生の皆さんにむけた受験対策ミニ講座を始めます。35 期生の皆さんも 1 年後を思い浮かべながらお付き合いください。ありがとうございました。

【Plus Quiz 正答と解説】

「ビッグイシュー」という雑誌を知っていますか。大阪スクーリング会場の近くでも初老の販売員さんがいて、買うことができました。

ビッグイシューは 1991 年にイギリスで始まったストリート新聞で、日本では「2003（平成 15）年から質の高い雑誌を作りホームレスの人の独占販売事業にすることで、（中略）救済ではなく仕事を提供し自立を応援する事業」（ビッグイシュー日本 HP から）として展開しています。

ゴッフマンは、ミクロ社会学的視点を提示したといわれています。例えば、社会的行為においても、人間は目的を追求するだけでなく、同時に他者の前で、ある役割を演じていると考え、社会的行為がもつ演技としての側面に注目し、「演劇論的行為論」を提唱しました。

「スティグマ」は、一般的には汚名や恥辱といった意味で使われますが、ゴッフマンは、社会的優位な立場にある者が劣位な立場にある者に対して押し付ける否定的な評価を示す用語として用いました。

ともすれば、多数派からスティグマを押しつけられるホームレスの人たちですが、正当な報酬による自立を目指すビッグイシュー日本の取り組みも、多数派に新たな認識を促すものといえるのではないのでしょうか。

選択肢の内容は、過去にもよく出題されているため、誤りの選択肢にある概念の特徴をここで正確に理解しておきましょう。あわせて、共通科目テキスト 3 「社会学と社会システム」第 1 章第 2 節、第 2 章第 1・2・5 節、第 4 章第 4 節を確認してください。

1. × 「自己成就的予言」は、マートンが提唱しました。銀行の取り付け騒ぎがその例で、ある銀行が倒産するという予言により、人々が預金を引き出しに殺到し、結果、その銀行は倒産するというものです。マートンの概念からは、「準拠

集団」「官僚制の逆機能」「行為の意図せざる結果」等が出題されています。

2. ×「マイノリティ」とは、マジョリティの対義語で少数派を意味しますが、単に数の多少ではなく、多くは社会的に不利な立場に置かれた「社会的少数派」をさします。

3. ○差別の原因は、個人の属性を「スティグマ」とみなす社会の作用により生じるという考え方を示し、個人の属性そのものは原因ではないとしました。

4. ×「クレーム申立て」は、スペクターとキツセが提起しました。「ある状況が存在し、それは問題である、と定義する人々の活動」をさします。社会問題が初めから問題として社会に存在するのではなく、クレーム申立てを通して社会問題が構築されるとしました。

5. 「カリスマ」は、ウェーバーが支配の三類型で用いたことで知られます。人々が支配を正当なものとして受け入れるパターンには、伝統や慣習、血統等により維持される伝統的支配、支配者本人のリーダーシップや資質、魅力によるカリスマ的支配、法に基づいた合理的支配があるといえます。ウェーバーの概念からは、「社会的行為の4類型」「官僚制」等が出題されています。

※社会問題の理解については、第32回～35回で構築主義、アノミー、スティグマ、ラベリング論等が出題されています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus